

業務名：令和6年度子どものまちづくりイベント「Mini Mini Midori プラス SDGs」

企画運營業務委託

質問回答書（令和5年12月25日掲載）

	質問	回答
1	募集は委託者で行うとのことですが、募集チラシの作成も委託者で行われるのでしょうか。もしくは、チラシの作成のみ受託者の業務でしょうか。その場合、昨年作成された枚数をお教え願います。	委託者において、子ども実行委員及びイベント当日の参加者募集に係るチラシデザインの作成、印刷、配布まで行います。
2	御見積書に含む制作物は昨年の報告書にあるものを想定すれば良いでしょうか。	令和5年度に実施したイベントと令和6年度のイベントは同程度の規模を想定しています。また、必要に応じ、イベントの提案内容に見合ったものを追加してください。
3	委託者として、マストで取り入れたい町の仕組みはございますでしょうか。（税収制度など）	最低限必要なまちの仕組み（まちの機能）として、次のものが必要と考えています。 ・学校（まちの仕組みを知る） ・税務署（税金の徴収） ・ジョブセンター（仕事を探す）
4	実行委員やボランティアとのやり取りは受託者にて行うのでしょうか。（実行委員会の日程発信等）	実行委員会、大学生ボランティア及びこれまでに関わっていただいた企業については、委託者が連絡調整等を行います。
5	昨年の実行委員の年齢内訳をお教えいただけますでしょうか。	令和5年度の子ども実行委員の年齢構成は次のとおりです。 小学3年生 3人 小学4年生 6人 小学5年生 5人 小学6年生 5人 中学1年生 1人 中学2年生 1人
6	今回緑区として、最も重視させたい部分は、令和3年度以前のように町のしくみをしっかり学ばせることなのか、もしくは昨年のようにSDGsについてメインで学べる町をつくることのどちらでしょうか。	まちの仕組みを学ぶこととSDGsについて学ぶことはどちらも同程度、重視しています。まちの仕組みを学ぶこと自体もSDGsに通じていると考えており、本イベント全体を通して、SDGsについての学びが進むことを目指しています。そのため、どちらかに比重が傾くものではなく、本イベントを成立させるためにはどちらも重要な要素と考えています。